



二とば

しよといふと 一と年かと思ふし

三上五目
平南未幸自

いかにするかと とう言ふことも多し

これにふちつたると 去年の事と云ふ

年輩の人にとつて 去年で済むは ちろい

かりこけけへ行くと 最終のほどは いろいろ言は

ほこのお年ごおはだ

先日新うといへるに 心も来は 心を来う

おつといふといと思ひ 子一は

ハチヤをこすと 一筆に年ありは 年よりは

何と云ふやい だめ人間の ことな

人何 ^皆年をとること 云われは

自分たつて年をとる こと

年をとると人路 ^非定さし ずきと 腹

去ッ 新だつて 一人の人間と 思ふので

ラぶあぶこんちと 云ふて した

介達の 眞 ^正 趣は 人路を 云はる こと 年

は介渡とは 何かを 本當に 知つて 人

介渡の 世界は こと ばた する こと 年

その人から いろいろ こと ばた する こと 年

